

(長岡京市) 自分ごと化会議 in 長岡京 第2回議事メモ

分科会	第4分科会（子ども・子育て）
コーディネーター	道官 丈晴
ナビゲーター	なし
説明担当者（自治体）	自治振興室：堀江 健康づくり推進課：村田 子育て支援課：中島
日時	2021年4月10日（土） 10時00分から12時30分
場所	産業文化会館3階 会議室1・2
その他	参加者数 <u>14名</u> 欠席者数 <u>13名</u>

趣旨・概要

- 自治会について
- 子どもの過ごし方・市の子育て支援施策について
- 会議の進行について
- グループワーク

総括

コーディネーター総括

- 自治振興室から自治会の活動内容や、子供会や老人会との関わり、地域の運動会の開催状況、自主防災組織の活動状況及び市の支援策などの説明がなされた。
- 子育て支援課から子どもの遊び場の利用状況、子どもに関するそのほかアンケート結果を、健康づくり推進課から子育てコンシェルジュに関する説明がなされた。

主な論点

論点①

自治会について

市からの説明と質疑応答

論点②

子どもの過ごし方・市の子育て支援施策について

・市からの説明と質疑応答

委)：委員、コ)：コーディネーター、ナ)：ナビゲーター、市)：説明担当者

協議の流れ

コ) 前回から4か月空いての開催となったので、第1回の振り返りをし、論点について市から資料を用意いただいているので、説明をいただき、課題を出していきたい。

会議後に改善提案シート及び次回参加等に関するアンケートの提出をお願いする。

前は、自己紹介の後、子育てについて感じている課題を出していただき、大きく3つの論点が出てきた。一つ目は学校(市内施設)のWi-Fi環境について。コロナの影響が背景にあると思われる。今後整備が進んでいくとのことだった。二つ目は子どもの遊び場や勉強の場などの居場所について。外で遊ぶ子どもが少なくなったという意見もあった。公園を利用する中で、ボール遊び禁止のところもあり、遊びやすくする工夫が必要なのではないか、また年少者が年長者に教わるという社会の縮図のような仕組みが今は少なくなっているのではないかという意見が出た。一方で新興住宅地ではまだ外で遊んでいる子どもが多いという声もあった。勉強できる場所がないという意見もあった。三つめは地域団体の役割と連携、子ども会の加入者の減少が話題となった。保護者の働き方や休日の使い方の変化が要因ではないかという意見があった。自治会の加入率が下がっているのと同じ背景があるのかなと感じた。若い世代の生活様式は変わっているのに、自治会や子ども会の仕組みは変わっていない。ここのマッチングがうまくいっていないという意見があった。いざ関わりが必要になったときに、どこへ行ったらいいか、誰に聞いたらいいかが分からない。子どもを出産するときの不安を解消する場もないという意見もあった。世代を越えて繋がる場がないという声も。そのほか、道が狭い、駐輪場が少ないという声もあった。

それではまず、自治会について市から説明いただく。

① 自治会について

市) 自治会とは住民が自分たちの住む地域をよりよくするために自主的に地域住民によって結成された組織。市の組織ではなく、あくまで地域の人で自主的に組織。現在長岡京市には57の自治会がある。令和2年4月1日時点で加入率は53.3%。10年前は63.6%で、毎年1%程度減少している。加入率が減少している主な原因は、高齢化や役員の担い手不足などが考えられる。また市内には自治会のない未組織地域が17地域ある。自治会活動について、地域によって活動内容の違いはあるが、自分たちの地域をより住みやすい地域にという思いで活動されている。例えば、自治会で年に数回公園の清掃をされている。こういった活動のおかげで公園環境が維持されて誰もが安心安全に使用できることに繋がっている。また行政からの依頼でポスター掲示や回覧、防犯委員や少年補導委員などを担っていただいている。地域課題に対するご意見をとりまとめて市へ要望されることも。市では自治会が行う様々な活動に対して補助制度がある。

委) 自治会加入率が低下する、または未組織地域があることで、行政側、地域側で困ることとは？

市) 自治会に入っていないことによって、地域の方々の状況（災害時に助けが必要な人な

のか等）が共有しにくい可能性があり、いざというときの共助が難しくなるのではないかと考えられる。また、自治会の回覧などの情報の周知が行き届かないのではと考えられる。

委) 情報網という意味で機能しているところが大きいと思う。日常的な情報のネットワークから漏れてしまうということが重要。行政から自治会を通じて伝えているはずの情報が行き届かないことはよくあると思う。

委) 古市町の自治会長をしている。回覧を減らしたいと考えている。昨年の国勢調査で自分の担当地域のネット回答率が40%程あった。自治会のHPを市で作成いただいて、情報を誰でも見られるように電子化を考えては。回覧で一度目を通すだけでは覚えられないこともある。高齢の方の回覧の回収が大変。自治会員すべてに関係する情報が全てではないので無駄に感じることもある。

コ) HPで周知している自治会はある？

市) 現在、回覧の内容をそのままHPでお知らせはしていない。市や警察・学校などの情報を回覧で周知いただいている。自治会によって、回覧をメリットであると感じている自治会とデメリット・負担に感じている自治会と両方ある。デジタルでの情報発信は市としても検討していくべき内容だと考えている。ただ、回覧によって繋がりを作っている自治会もある。昨年の緊急事態宣言の際に回覧を中止にしたことがあったが、回覧をぜひやってほしいという声もあった。デジタル化はもちろん重要だが、それぞれの自治会の状況に応じて対応を考えていきたい。七小校区のグリーンフォート自治会ではLINEでの回覧をされている。回覧でお伝えしている情報について、回覧でしか知りえない情報というのはない。長岡京市には全戸配布の広報紙で周知したうえで、さらに伝えたいことなどをまとめて自治会に回覧をお願いしている。

委) 災害などの緊急事態においてはわかるが、毎度の情報（古紙回収や学校だより等）は回覧不要ではないかと思う。

コ) 情報発信を手間と考えるか、機会と捉えるかは様々。各自治会の取り組みも地域によって様々。こども会の取り組みとはどんなことをされているのか。57自治会のうち42の自治会でこども会活動をされている。

委) 私の地域では、こども会は自治会とは別に独自で運営されている。自治会全体で高齢者等も巻き込んで活動できれば良いなと思っている。

市) 「こども会の連携について」という資料をご覧いただきたい。こども会の横のつながりとして子育て連があったが、活動困難で解散となっている。市としてもこども会の横のつながりを把握するのは難しい状況。

② 子どもの過ごし方・市の子育て支援施策について

市) 公園利用者数集計表をご覧いただきたい。管理棟のある長岡公園、西山公園、勝龍寺城公園、西代里山公園のみの集計となるが参考にしていきたい。コロナの関係で数値は例年とは異なる。

コ) 昨日西代里山公園と下海印寺の高架下の公園を見に行ったが、たくさんの子供が遊ん

でいた。ボール遊びゾーンが区切られていて立派な公園だと感じた。

委) 私が小学生の時は、放課後も学校が解放されており、学校で遊んでいた。今はどうなっているのか。放課後の小学校にあまり子どもがいない印象。

市) 学童の子供が多い印象だが、地域の子供たちも学校で遊んでいる。ただ現在は公文等の習い事で放課後の時間の使い方も様々。

コ) 七小では、放課後に子どもたちがたくさん遊んでいた。他の学校はどうか。

市) 平日夜間や土日では、地域の方が予約して利用されているので利用しにくいかもしれないが、放課後の時間帯は子どもたちが遊んでいるという印象。

委) 集計表のうち、市内の小学生がどれだけ遊んでいるのかが知りたい。

委) 西代里山公園には駐車場があるので、小さい子供がいても荷物が多くても行きやすい。

コ) 屋内での遊び場はあるのか。

市) 公共施設においては、就学児の遊び場として北開田児童館がある。未就学児は公民館やこらさ 2 階のこども交流コーナー、バンビオ 1 階児童室がある。未就学児を対象としたアンケート調査 (H30 年実施) で放課後よく遊ぶ場所のうち公園は約 2 割、自宅が 3 割強、無回答もあるので正確ではないが、公園は比較的多い。

委) 私は発明クラブに属し六小で今までの仕事の経験を伝えたり一年間を通じた成果物を作って発表会を行ったりしている。学校以外の環境で、子供の興味のあるものに対して目標を立てさせることは意義のあることだと思う。発明クラブは発明協会から支援金をもらって活動している。全国で十数団体あるが、京都府下では長岡京市だけ。

委) 今何をしているのかが分からなくなっている。前回の振り返りをしているのか、意見交換が始まっているのか、資料の説明をしているのかが混乱している。

コ) 放課後の過ごし方について、市からの資料の説明をいただいてからさらに意見を出していただきたい。

市) 自治会活動については、委員の方から意見があったように役員のなり手不足等が課題となっている。問 35、地域の半分以上の方が行事に参加されている現状にある。問 37、地域での育ちと自己肯定感の相関関係については、地域の大人が見守ってくれていると感じている子どもは自己肯定感が高い。

市) 子育て支援課作成資料をご覧いただきたい。核家族化については、資料のとおり直近 10 年ではあまり割合は変化していない。親の働き方について、フルタイムの共働き世帯が増えている。この変化についても対応できるよう保育施設の整備にあたっている。インターネットで子育て支援関連の情報を得ている方が多い。本市では子育て支援のスマホアプリも提供している。

市) 切れ目のない支援を行うために子育てコンシェルジュという事業を行っている。一人で育てるのではなく繋がっていく、安心して子育てできるということがコンセプト。実際には、妊娠届け出の提出時にアンケートをとり、出産前から困りごとを把握し一緒に考えていく。現状妊婦さんの 100% を把握している。就学までの検診においても相談できるようにしている。ハローベビー教室を開いて保育園の様子を見学していただいたり、ファミサ

ポや双子三つ子の母親のサポートを行っている団体への繋ぎも行っている。

委) すくすく教室について説明いただきたい。

市) 国の放課後こどもプランや京都府の施策を基礎に市で実施している事業。H19年度から始まり、H20年度から全小学校で実施している。R2年度についてはコロナの影響で開催が少なかった。R元年度の活動内容について資料を配布する。地域の方がご自身の得意なことを持ち寄って子どもたちに教える場となっており、コロナ以前は概ね週1回開催していた。

③ 会議の進行について

委) この会議のゴールはどこなのか。今何をやっているのかが分からないまま、資料の説明が100分続いている。ゴールがどこなのかの共通認識を持たなければ何を話し合ったらよいのか分からない。このまま資料の説明と質問で会議が終わって、市民と話し合いをして条例を策定しましたという体が欲しいのであれば辞めたほうがよい。何を伝えたいのかが明確でない。タイムマネジメントを考えたほうがよい。

コ) 条例策定に向けて、課題を提案書にまとめるのが目標。コロナの影響で第1回から期間が開いてしまったこともあり、前回の振り返りと、課題の洗い出しを再度行いたいと考えている。

～ 休憩 ～

委) 大人数なので、運営の仕方を次回以降考えたほうがよい。分科会の中に分科会を作ってはどうか。子育ての課題として、貧困家庭や片親家庭等、特殊な事情のある家庭を地域でどうサポートするかという専門的分科会や、いわゆる一般的な家庭をテーマにした分科会などで、全く違った視点を持って話し合わなければいけないと思う。

委) 課題は多岐にわたる。課題について、行政、自治会、市民それぞれでどう考えているのかを整理できたら良いのではないかな。

委) テーマを絞ってもらったほうが意見を出しやすい。

PT) 発言をしている方が限られているのもったいない。グループ化が難しいのであれば、隣の方と二人一組になり、ディスカッションし、意見を出したらどうか。この形式での継続はやめたほうが良いと思う。子育ては漠然とした課題。それぞれの子育ての価値観がある。エッセンスを事務局で投げて、少人数で議論したほうが活発になると思う。

委) キーワードを出し合い、それをグループ化して議論してはどうか。

コ) ではキーワードの絞り込みを。

委) まだ絞り込んでダメ。今から広がっていかないと。まずはできるだけたくさん出さないと。

委) まずは隣の人と話し合いをして出してもらわないと。キーワードは一つじゃない。

④ グループワーク

コ) 出していただいた課題をグループ分けした。「貧困」というグループでは、貧困の問題

委): 委員、コ): コーディネーター、ナ): ナビゲーター、市): 説明担当者

と教育にかかるお金（塾など）が高くなっているなど。「Wi-Fi」というグループには環境整備と情報発信の仕方について、公共施設の ICT 環境整備など。「場所」というグループでは、公園や子どもの遊び場、公園の活性化によるコミュニティづくり、公民館の有効活用、校区の問題、公園のルールのある在り方など。「行政と市民の役割」というグループでは、コロナ禍で育児用品を通販で買い、段ボールの回収の頻度が上がったという生活面の変化、自治会・こども会の役割と運営、行政の課題意識を先に教えてほしい、ちょっとした相談をする場、誰に相談したらよいかわからない人を救う。

委) 役割というカテゴリーがナンセンスだと思う。誰がやるのかはその後の話。

コ) 「交流」では、世代間交流、子どもの年齢ごとに分けて考えてもよいのではないか、こども会のサポーターの活用、引きこもり、結婚支援。「健康」はコロナ、受動喫煙、性教育、親の心など。「情報」は情報の正誤の判別、「共働き」等たくさんの課題が集まった。区分分けを事務局で行い、次回以降の話し合いにおいてグループで話し合いができるように絞り込んでいきたい。話し合いをするグループはどれくらいの人数がよいか。

委) マックス 5 人だと思う。

コ) 5 人までをめどに、テーマ分けをしつつ、小グループに分かれて深掘りできるような体制で第 3 回をしたいと思う。

委) テーマが決まったら、事前に知らせてほしい。希望のグループに参加を希望される方を先に確認したほうが良いのでは。

コ) そのように対応する。第 2 回はこれで終了とする。

次回の分科会に向けた準備

次回の分科会の進め方

- 第 2 回での議論を基に、4 つのテーマを設け、テーマごとにグループを構成し、グループワークを行う。
- 前半 90 分は、グループでテーマに関する議論を行い、後半 60 分は、各班から議論した内容を発表し、共有する。